

立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、東洋の文字文化を中心にして高度な研究業績を挙げた文化勲章受賞者 故・白川静 立命館大学名誉教授の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の振興と高度化を図ることをその設立目的としています。また、漢字文化を通しての東洋文化の復興、そして東北アジア地域の平和と安寧の一助となることを願っています。

研究所の主な活動

- 立命館白川静記念東洋文字文化賞の創設
- 白川文字学及び東洋文字文化に関する展示会の開催
- 講座開催、講義受託
- 研究所叢書の刊行
- 漢字教育士資格認定講座の開設
- 創作漢字コンテストの開催
- 白川静文庫の開設ならびに同目録刊行

研究所としての実績

定期刊行物

『立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要』 年1回発行
『白川研究所便り』 年1回発行

図書出版

『入門講座 白川静の世界I～III (立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所叢書)』 平凡社 (2010年9月)

近年の主な公開講演会・フォーラム等企画

「白川静生誕100周年記念フォーラム」(2010年6月)
立命館土曜講座 白川静の世界 公開講演会 「私が白川静先生から学んだこと」(2011年6月)

白川静博士について

白川静博士は、日本と中国とが東北アジア地域において文化的類型性をもつという広い視野に立ち、漢字の原義を字形学的に体系化し、中国および日本の古代文化について独創的な研究を築き上げました。その独自の字説は、1900年間もの長い間、字源研究の聖典として権威をもった後漢の許慎『説文解字』を批判しつつ、世に「白川文字学」と称され、内外の学界から高い評価を得ました。

白川博士の研究は、もともと日本の古代を考察することに端を発していますが、比較研究の必要性から中国の古代に広がり、漢字文化圏全体に亘る壮大な研究になりました。1998(平成10)年11月、文化功労者として顕彰され、2004(平成16)年11月文化勲章が授与されました。



立命館大学 白川静記念
東洋文字文化研究所

所長

加地 伸行 (衣笠総合研究機構・教授)

主な研究拠点

立命館大学 (衣笠キャンパス) 白川静記念東洋文字文化研究所

お問合せ先

立命館大学 研究部 リサーチオフィス (衣笠) 内 白川静記念東洋文字文化研究所事務局

TEL: 075-465-8225 TEL: 075-465-8245 E-mail: toyomoji@st.ritsumeikan.ac.jp

URL: <http://www.ritsumeikan.ac.jp/acd/re/k-rsc/sio/index.html>